

2022 年度 卒業年次生アンケート 結果報告

大学事務部 IR 推進室

1. 概要

- (1) 実施日：2023 年 3 月 10 日（金）
- (2) 対象者：2022 年度卒業年次生 1,023 名
→卒業延期や在学期間延長等の理由により、2023 年度も在籍する学生は除いた、卒業確定者の人数。
- (3) 回収したアンケート数：684 件（回収率：66.9%）
→うち、回答が全く記入されていない 28 件は無効として、集計から除外。
- (4) 集計対象としたアンケート数：656 件（有効回答率：64.1%）

【図表 1】2022 年度卒業年次生アンケート回収状況

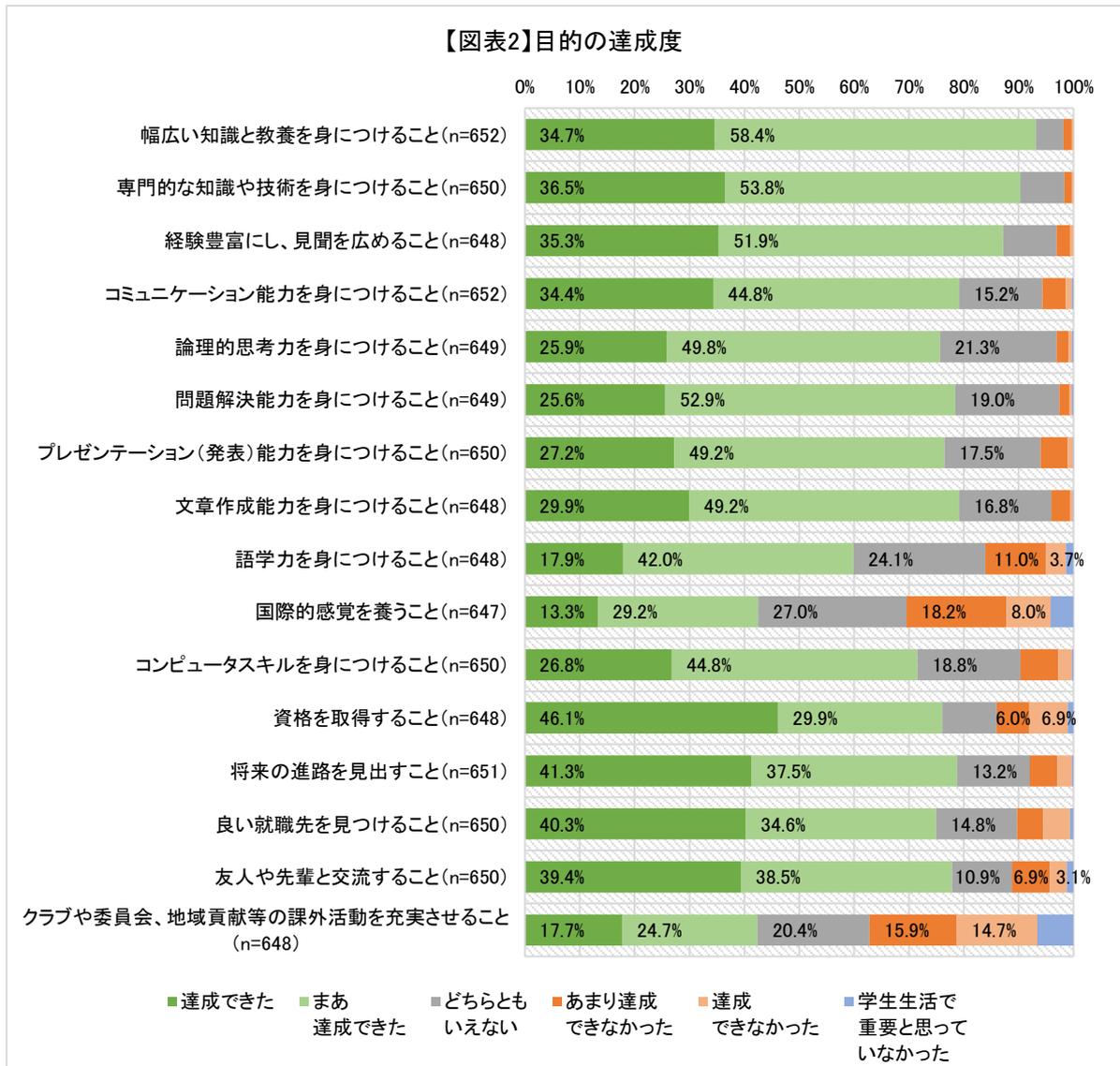
学科名(カッコ内は略称)	対象者	回収	未回収	回収率
日本語日本文学科（日文）	115	101	14	87.8%
英語文化コミュニケーション学科（英文）	120	64	56	53.3%
子ども教育学科（教育）	100	70	30	70.0%
メディア情報学科（メディア）	86	62	24	72.1%
生活デザイン学科（デザイン）	47	38	9	80.9%
小計《学芸学部》	468	335	133	71.6%
社会マネジメント学科（社会）	147	17	130	11.6%
人間心理学科（心理）	129	90	39	69.8%
小計《人間社会学部》	276	107	169	38.8%
健康栄養学科（健康）	82	64	18	78.0%
管理栄養学科（管理）	115	77	38	67.0%
小計《栄養科学部》	197	141	56	71.6%
計《大学》	941	583	358	62.0%
食物栄養学科（栄養）	82	73	9	89.0%
計《短期大学部》	82	73	9	89.0%
計《回答なし》	-	28	-	-
アンケート回収数	1,023	684	339	66.9%
集計対象とするアンケート数		656	-	64.1%

【参考】春学期卒業者を加えた 2022 年度全卒業者数から見た回収率（有効回答率）は以下のとおり。

大学 … 卒業者数：953 名 回収率（有効回答率）：61.2%
短期大学部 … 卒業者数：82 名 回収率（有効回答率）：89.0%

2. 各項目の分析

(1) 目的の達成度について

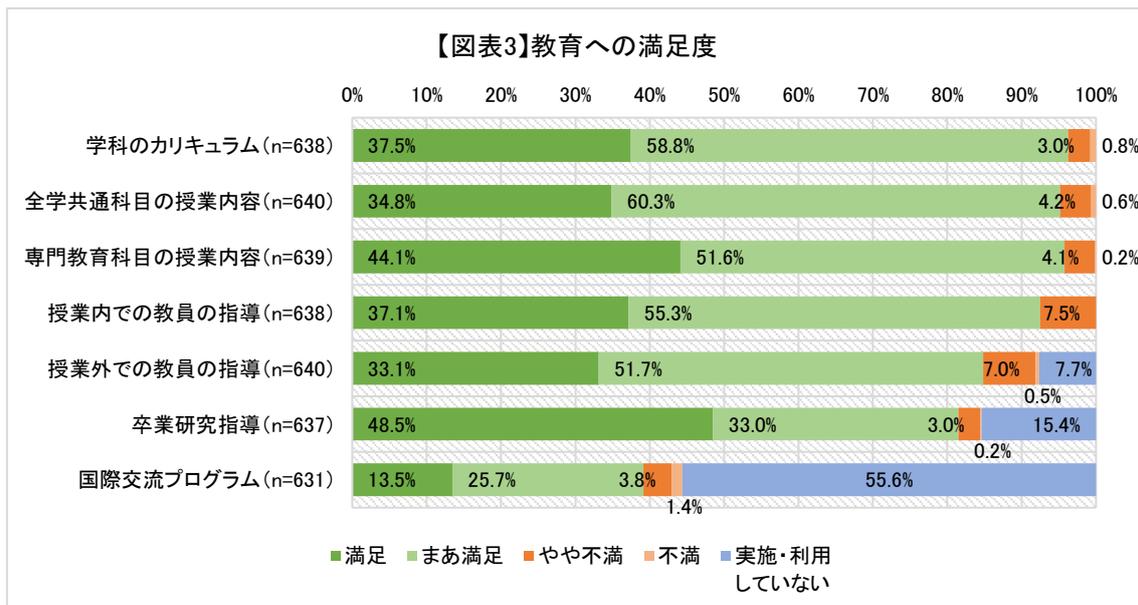


※肯定回答以外は、1割を超えるもの（否定回答は合算で）のみ割合を掲載。

- 「語学力を身につけること」「国際的感覚を養うこと」「クラブや委員会、地域貢献等の課外活動を充実させること」以外の13項目について、70%以上の学生が肯定的に回答している。特に、「幅広い知識と教養を身につけること」「専門的な知識や技術を身につけること」は90%を、「経験豊富にし、見聞を広めること」は85%を超えている。なお、この3項目の肯定回答率が80%を超えるのは、2017年度から6年連続である。
- 肯定回答率が前年度から5ポイント以上増加したのは2項目で、「プレゼンテーション(発表)能力を身につけること」の+6.1ポイント(70.3%→76.4%)と「文章作成能力を身につけること」の+5.7ポイント(73.4%→79.1%)。なお、5ポイント以上減少した項目は、一つもなかった。
- 「幅広い知識と教養を身につけること」から「文章作成能力を身につけること」までの

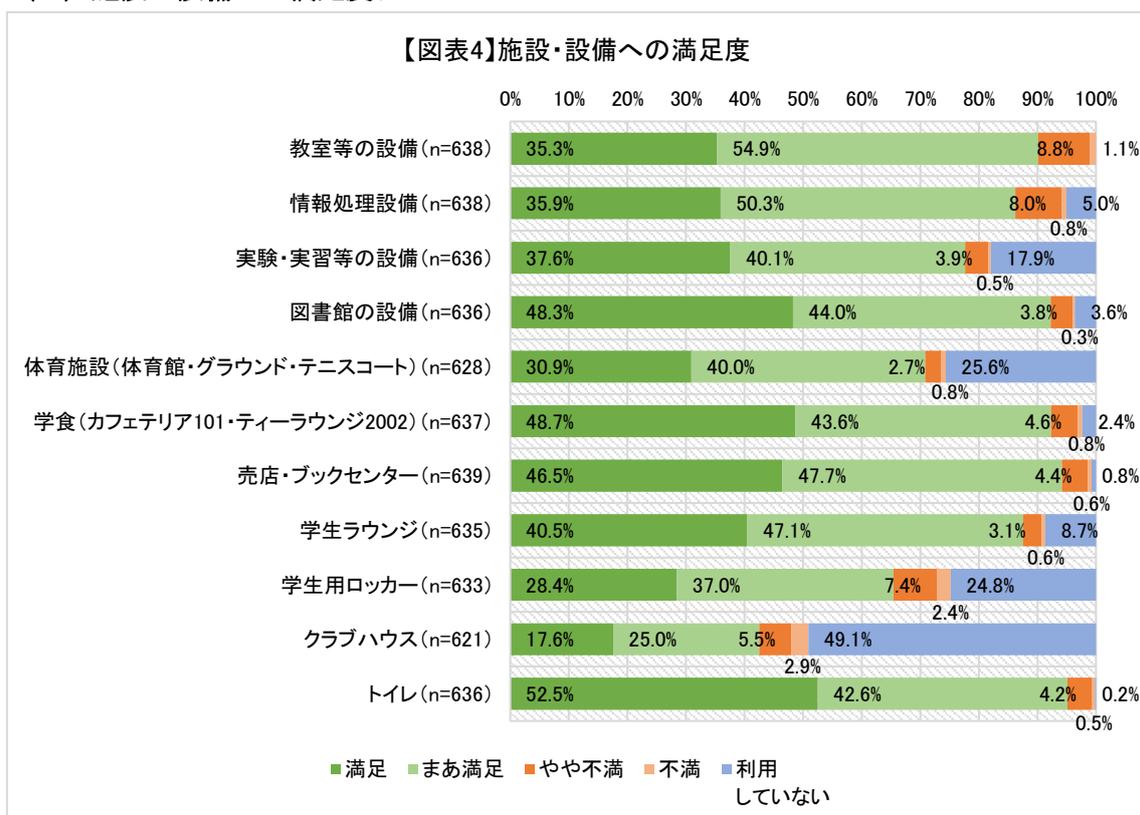
8項目は、「達成できなかった」と回答した学生が10名未満で、割合にすると1%前後であった。一方、否定回答率が10%を超えたのは、「語学力を身につけること」「国際的感覚を養うこと」「資格を取得すること」「友人や先輩と交流すること」「クラブや委員会、地域貢献等の課外活動を充実させること」の5項目で、前年度と全く同じ結果であった。

(2) 教育への満足度について



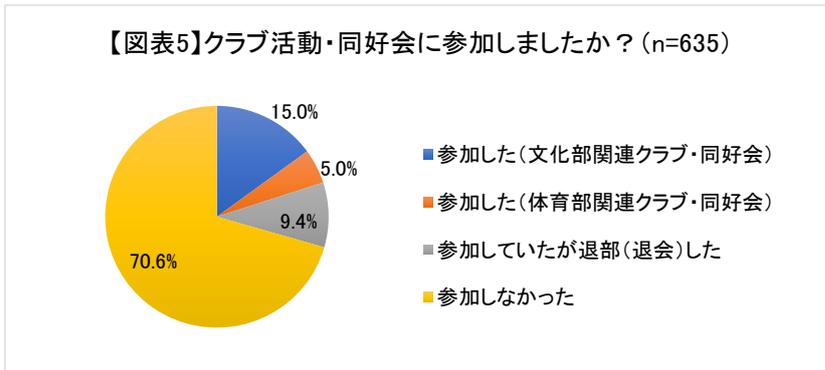
- 「学科のカリキュラム」「全学共通科目の授業内容」「専門教育科目の授業内容」「授業内での教員の指導」について、90%以上の学生が肯定的に回答している。また、「授業外での教員の指導」「卒業研究指導」についても、80%以上の学生が肯定的に回答している。なお、「卒業研究指導」について否定的な回答をした学生の割合は3.2%で、全7項目の中で最も少ない。
- 全ての項目において、否定的な回答をした学生の割合は10%未満である。さらに、「国際交流プログラム（留学・語学研修・キャンパス留学）」以外は、「不満」と回答した学生が1%未満である。
- 「卒業研究指導」を15.4%の学生が「実施・利用していない」と回答しているが、そのほとんどが卒業研究を必修としていない栄養系3学科の学生である。
- 「国際交流プログラム（留学・語学研修・キャンパス留学）」は、このアンケートを開始した2016年度から「実施・利用していない」と回答した学生の割合が50%を下回ったことがなく、今回も55.6%という結果であった。
- 前年度との比較では、「卒業研究指導」が8.8ポイント増加した。

(3) 施設・設備への満足度について

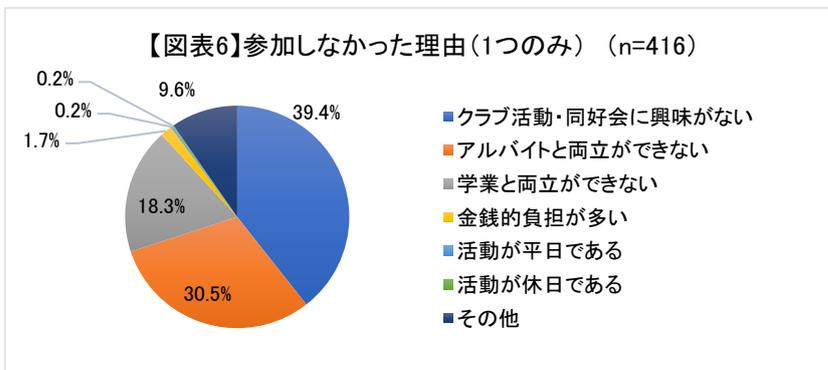


- 「教室等の設備」「図書館の設備」「学食（カフェテリア 101・ティーラウンジ 2002）」「売店・ブックセンター」「トイレ」について、90%以上の学生が肯定的に回答している。また、「情報処理設備」「学生ラウンジ」についても、80%以上の学生が肯定的に回答している。
- 肯定回答率が 80%未満の 3 項目は、「クラブハウス」の 49.1%を筆頭に「利用していない」と回答した学生の割合が多く、否定回答率はいずれも 10%未満であった。
- 前年度との比較で最も変化が大きかったのが、肯定回答率では「体育施設（体育館・グラウンド・テニスコート）の-3.3ポイント（74.2%→70.9%）、否定回答率では「情報処理設備」の-3.4ポイント（12.2%→8.8%）。その他は 0.2～2.5ポイントの変動となっており、学生の回答傾向に大きな変化は見られなかった。

(4) クラブ・同好会について

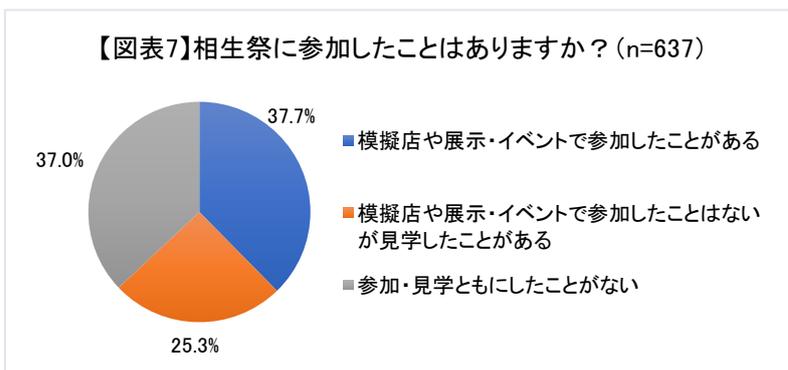


- 在学中にクラブ活動や同好会に「参加した」経験がある学生は、退部（退会）した者も含めて 29.4%。学生生活の大半をコロナ禍の中で過ごした学生が対象であった今回も、約 30%の参加率という例年の傾向から大きな変化は見られなかった。

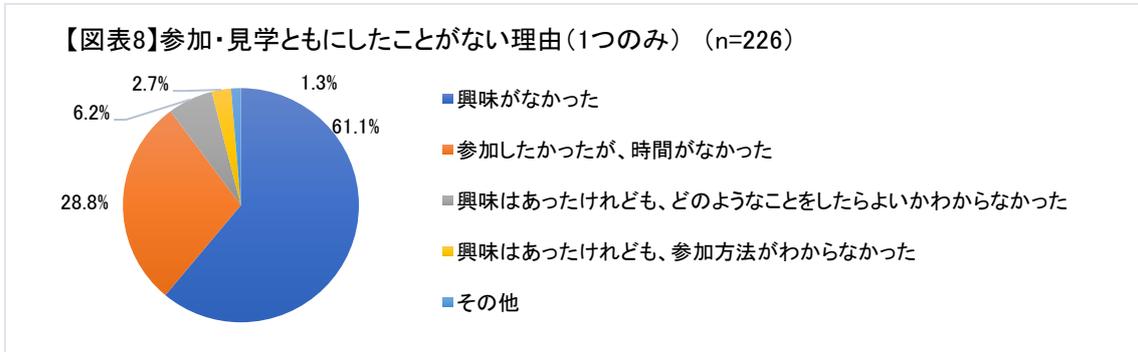


- 「参加しなかった」とした 448 名のうち、この設問に回答した学生は 416 名 (92.9%)。
- 理由として最も多かったのは「クラブ活動・同好会に興味がない」で 39.4%、次いで「アルバイトと両立できない」「学業と両立できない」となっている。
- 「その他」とした 40 名のうち、具体的な理由を記述した学生は 38 名。そのうち、「コロナ」を理由とした学生は 3 名で意外に少なく、「興味を引くものや入りたいものがない」「他の活動（委員会・ボランティア・他大学のサークルなど）をしていた」「家が遠くて通学に時間がかかる」などの理由が複数の学生から挙げられた。

(5) 相生祭について

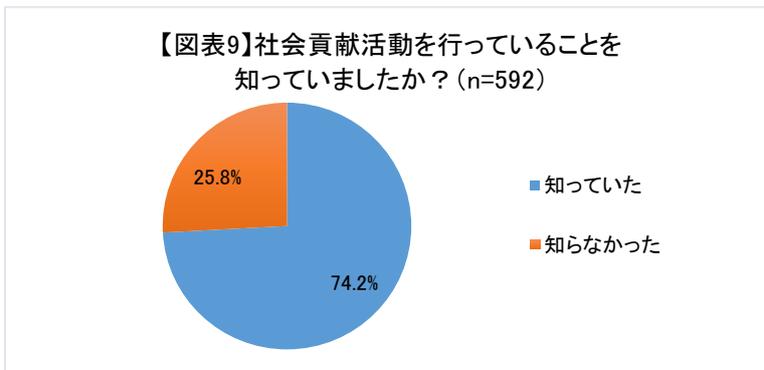


- 「参加したことがある」もしくは「見学したことがある」学生は 63.0%。前年度から 2.6 ポイント減少したものの、依然として 60%以上の学生が何らかの形で相生祭に関わっている。

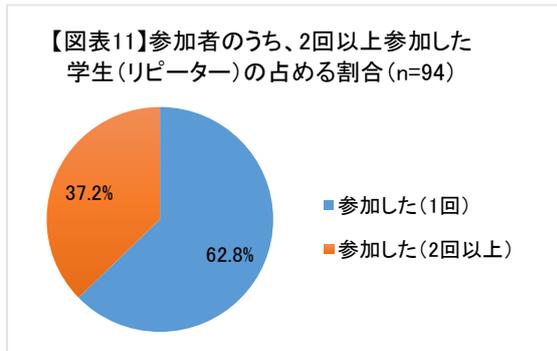
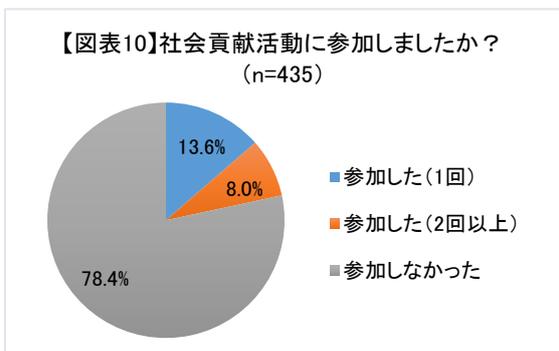


- 「参加・見学ともにしたことがない」とした 236 名のうち、この設問に回答した学生は 226 名 (95.8%)。
- 理由として最も多かったのは「興味がなかった」で 61.1%。その一方で、37.7%の学生が「参加したかった」もしくは「興味はあった」と回答している。
- 「その他」と回答した学生は 3 名で、全員が「コロナ」を理由としている。

(6) 社会貢献活動について



- 本学が社会貢献活動を行っていることを、74.2%の学生が「知っていた」と回答している。



- 「知っていた」とした 439 名のうち、この設問に回答した学生は 435 名 (99.1%)。

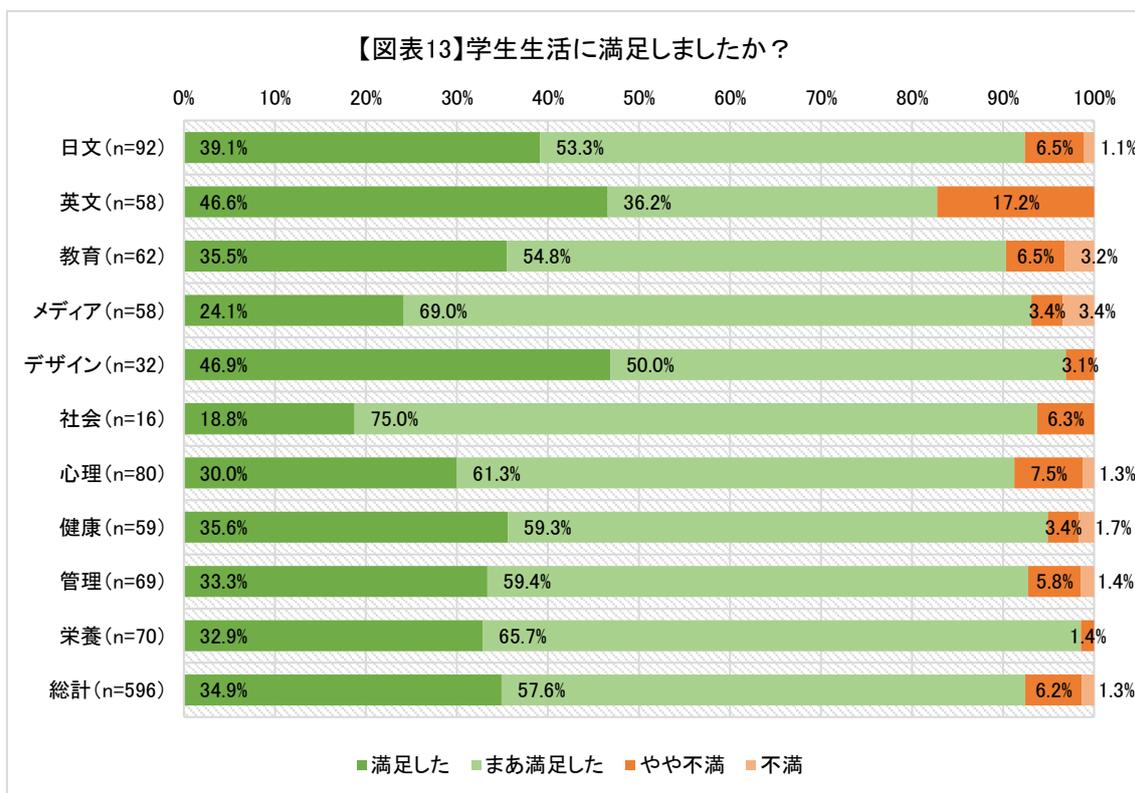
- 「参加した」と回答した学生の割合は 21.6%。その内訳を見ると、1 回だけの参加が 60%を占め、2 回以上参加した「リピーター学生」の割合は 37.2%であった。

【図表 12】参加しなかった理由(複数回答可)

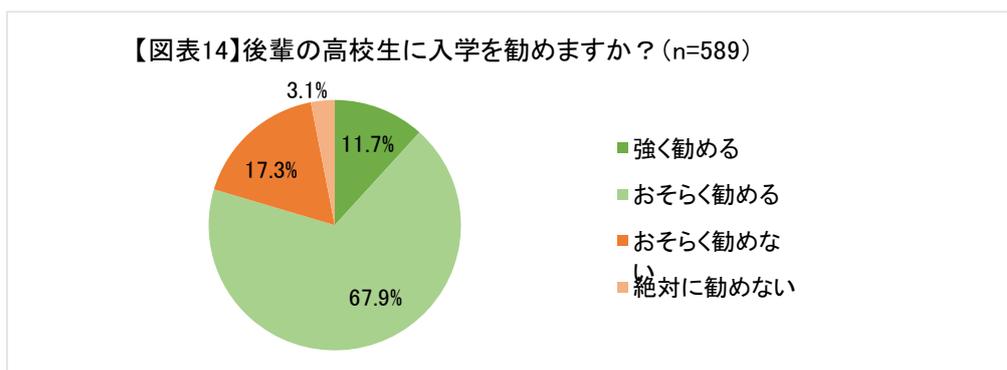
回答	件数
①物理的阻害要因	198
日程が合わなかった(106)／お金がかかりそうだった(37)／活動場所が遠かった(37)／活動期間が長かった(18)	
②参加への不安感	122
一人で参加するのが不安だった(67)／泊まりがけになることが不安だった(28)／一緒に参加する友達がいない(27)	
③活動への知識・理解不足	66
活動内容がよくわからなかった(48)／活動を通じて何が学べるのかわからなかった(18)	
④関心がなかった	83
⑤その他	14

- 「参加しなかった」とした 341 名のうち、この設問に回答した学生は 318 名(93.3%)。
- 回答を大括りにまとめると、例年と同様に「物理的阻害要因」に起因するものが最も多く、中でも日程的な問題を理由とする学生が多かった。
- 「一人で参加するのが不安」「一緒に参加する友達がいない」をあわせると 94 件となり、回答した学生のうち約 30%が単独での参加に不安を感じていたことがわかる。
- 「その他」と回答した学生のうち、具体的な理由を記述した学生は 12 名。そのうち、「中止になった」も含め「コロナの影響」が理由と思われる回答は 4 件で、それ以外には「忙しかった」「アルバイトを優先」等の理由が挙げられた。

(7) 学生生活を振り返って



- 全体的には、「満足」「まあ満足」をあわせて 92.5%となり、前年度に比べて 2.9 ポイント増加。学生生活について、90%以上の学生が肯定的に回答している。
- 学科別でも、9 学科で 90%以上、残り 1 学科も 80%以上の学生が肯定的に回答している。



- 全体的には、約 80%の学生が肯定的に回答している。前年度と比較しても、-3.6 ポイント (83.2%→79.6%) と大きな変化は見られなかった。
- 学科別では、1 学科が 90%以上、3 学科が 80%以上、それ以外の 6 学科も 70%以上の肯定回答率となっている。

以上